

②

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-120322

(43) 公開日 平成4年(1992)10月28日

(50) Int.Cl.<sup>5</sup>

G 0 1 D 5/38

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 7817-2F

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21) 出願番号

実開平3-32730

(22) 出願日

平成3年(1991)4月12日

(71) 出願人 000001960

シチズン時計株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号

(72) 考案者 西沢 和志

埼玉県所沢市大字下宮字武野840番地 シ

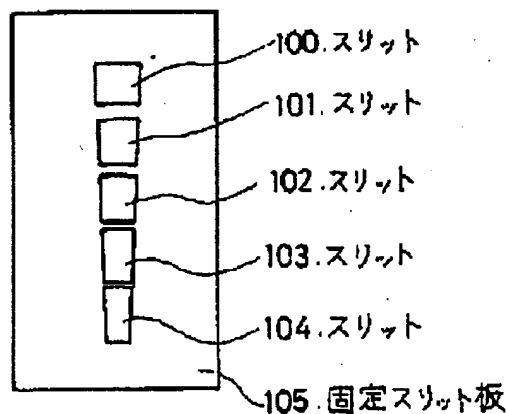
チズン時計株式会社技術研究所内

(54) 【考案の名称】 光学式アブソリュートエンコーダ

(57) 【要約】

【目的】単純な回路構成で、回路部品点数の少ない、より安価なアブソリュートエンコーダを提供すること。

【構成】光学式アブソリュートエンコーダにおいて、各トラックに対応する受光素子に入射する最大光量が一定となるように、固定スリット板上に、各トラックに対応して設けたスリットの開口面積を等しくすることにより、受光素子の最大出力が一定となるので、従来、トラックの数だけ用いていた可変抵抗器の数を減らすことができ、部品点数の少ない回路構成で、かつ調整工数の少ない、より安価なアブソリュートエンコーダを提供することができる。



(2)

実開平4-120322

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 2進化符号パターンを構成する透光部を持つ回転スリット板と、2進化符号パターンの各トラックを照明する光源と、該各トラックに対応するスリットを持つ固定スリット板と、該各トラックに対応する受光素子とで構成される光学式アブソリュートエンコードにおいて、前記固定スリット板のスリットの開口面積をいづれも等しくしたことを特徴とする光学式アブソリュートエンコード。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を示す固定スリット板の平面図である。

【図2】 本考案の一実施例を示す電気回路の構成図である。

【図3】 本考案の他の実施例を示す固定スリット板の平面図である。

【図4】 一般的なアブソリュートエンコードの概略構成図である。

【図5】 従来のアブソリュートエンコードの電気回路の基本構成を示す図である。

2

【図6】 従来の固定スリット板の平面図である。

【図7】 従来のアブソリュートエンコードの電気回路の構成図である。

【符号の説明】

100、101、・・・、104 スリット

105 固定スリット板

201、211、・・・、241 フォトダイオード

205、215、・・・、245 演算増幅器

207 可変抵抗器

10 208、219、・・・、249 比較器

300、301、・・・、304 スリット

305 固定スリット板

401 光源

402 回転スリット板

403 グレイ符号パターン

404 トラック

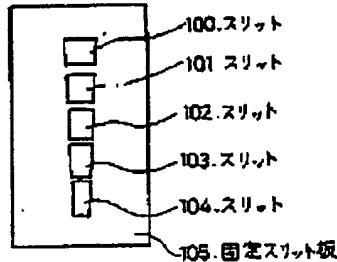
405 固定スリット板

406 スリット群

407 フォトダイオード群

20

【図1】



【図2】

